

船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結ぶ —

校長室だより No.21
“やさしく かしく たくましく”
～ 本気と礼節の教育 ～
令和4年3月16日 文責:安生昌弘

◆ 礼節の基本は“あいさつ”

去年の4月、私を始めとして転任してきた全ての教職員が感じたことがありました。「自分から挨拶(あいさつ)しない子、挨拶を返せない子が結構いるなあ。」ということです。さらに、始業式から3日後に行われた、6年生への交通安全推進員委嘱状交付式で船引幹部交番の警察官の方から、こんなお願いがありました。

「交番前で、小学生の挨拶が殆(ほとん)どないので、下級生に模範を示すように6年生が進んで挨拶をして下さいね。」

挨拶は礼儀作法中の基本ですから、先生達と力を合わせて気持ちの良い挨拶を全ての子どもができるように指導してきました。また、高学年の委員会活動でも“あいさつ運動”を朝の昇降口で頑張ってきました。PTAの役員さんも朝の“あいさつ運動”をして下さいました。



多くの方々の努力の結果、今では相手の方の目を見て挨拶できる子が増えました。自分から先に挨拶できる子も増えました。私が校長室にいと、ガラス窓の出入り口のところで立ち止まり、私の顔を見てからお辞儀をして帰りの挨拶をしてくれる子もいるほどです。挨拶を受ける喜びも一入(ひとしお)です。それでも、まだ挨拶をしない子や返せない子は居ますので、引き続き指導や“あいさつ運動”を行っていきたくて考えています。ある企業の社長さんは「目を見て挨拶のできる人を採用する」と話す位、挨拶は社会人としての基本なのです。

◆ 算数コンテスト終わる

新型コロナウイルス感染拡大があり、臨時休業や学級閉鎖などがあり、実施が遅れた学年もありましたが、先日の全校集会で無事、初めての算数コンテストの表彰をすることができました。また、表彰状の他に“エクセレント鉛筆”を贈りました。エクセレント(EXCELLENT)とは「大変よくできました!」という意味です。学年毎の優秀賞人数をお知らせします。また、参考に船小漢字検定の結果もお知らせします。



【算数コンテスト(令和4年2月実施)】

満点賞	3年: 4名	4年: 1名	5年: 1名			
優秀賞	1年: 29名	2年: 23名	3年: 27名	4年: 29名	5年: 23名	6年: 21名

【漢字検定(令和3年8月2～6学年 実施)】

満点賞	2年: 39名	3年: 16名	4年: 10名	5年: 8名	6年: 9名
合格率	2年: 92%	3年: 86%	4年: 69%	5年: 63%	6年: 62%

学校と家庭がタッグを組み、一つ(ハイブリッド)になって2倍以上の力(パワー)で効果的に子どもたちを育てたいと願い、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。